

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	25年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 関連事業担当課長	
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	名古屋港水族館の振興			連絡先	052-654-7836	
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者			事業 期間	平成18年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	海洋文化の普及に努めます。				
概要	水族に関する知識や水族への親しみ、県民・市民の健全な余暇の活用などを目的とした名古屋港水族館の振興を図ります。			根拠 法令等	指定管理者による公 の施設の管理に関する 条例、名古屋港水 族館条例	
26年度の実施予定	指定管理者に対して、定例的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。また、南館のサンゴ礁大水槽の改修を進め、26年12月末のグランドオープンに向けて一般公開を実施します。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連 シート		

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	指定管理者に対して、定例的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行い、利用者が増加するよう努めました。また、南館のサンゴ礁大水槽の改修を進め、26年12月にグランドオープンしました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	247,700	747,601	541,285	512,195	
人件費	千円	10,459	10,512	10,571	10,514	
合計	千円	258,159	758,113	551,856	522,709	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
入館者数(万人)	目標	-	-	210	221	過去の実績等を踏まえた目標入館者数	消費税増税に伴う景気低迷
	実績	199	204	196			
(単年度管理型)	事業進捗状況(26年度)	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る					
ニュースリリース数(回)	目標	-	-	104	104	イベントや企画等ニュースリリースした数。平成23年度～平成25年度の平均値。	
	実績	109	106	103			
(単年度管理型)	事業進捗状況(26年度)	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	消費税増税に伴う景気低迷により、年度の前半は入館者数は落ち込みましたが、12月のサンゴ礁大水槽リニューアルの効果などで、後半の入館者は持ち直しました。ニュースリリースは適正な時期にタイムリーな話題を提供し、ほぼ目標値を達成しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="checkbox"/> 親しまれる港づくりを推進するため、本組が関与する必要があると考えています。また、広く一般の利用者を対象として海洋文化の普及を行っており、ニーズや社会環境に貢献しています。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="checkbox"/>					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="checkbox"/> 景気低迷の影響もあり、入館者数は減少しましたが、なお多くの利用者が訪れる施設となっており、親しまれるみなとづくりに貢献しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="checkbox"/>					
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="checkbox"/> 施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	拡大	維持	・コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入館者数を継続するため。
課題		27年度以降の取組	
景気動向の影響により入館者数の減少が見られたことから、取り組みを強化する必要があります。		モニタリングを強化するとともにニュースリリース等を効果的に行い、利用者にタイムリーな情報の提供に努めるよう、指定管理者に対し適切な指導・助言を行います。	